

WEEKLY BULLETIN

2022-23

Rotary Club of Mino-o

国際ロータリー 第 2660 地区 箕面ロータリークラブ



会長 芝野 弘三郎 幹事 木村 知也 広報委員長 上島 一彦

国際ロータリー会長 ジェニファー E. ジョーンズ

国際ロータリー第 2660 地区ガバナー 宮里 唯子

例会場 箕面観光ホテル

例会日 毎週木曜日 18:30~

事務局 〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 (箕面観光ホテル内) Tel:072-724-2781 Fax:072-724-1786

Email : mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP : <http://mino-orc.net/>

NO.2543

2023年3月9日発行

●今週の例会プログラム

2023年3月9日(木) 第 2550 回例会

卓話 岡内重信 会員

【箕面観光ホテル】

◆前回例会◆

出席報告

2023年3月2日(木) 第 2549 回例会
会員数 34名 出席者 23名 (出席率 71.87%)

ゲスト 米山奨学生 張 路明 様

◆会長挨拶◆

芝野 弘三郎

今日は、米山奨学生の張君にとっては最後の例会となります。あっという間の 1 年でした。昨年の創立記念例会で最初に出会い、その後、米山関連の様々な行事に参加され、我がクラブの例会には皆出席、箕面まつり、RAC の献血運動など、数多くの事業にも積極的に参加されたことに感謝するとともに、敬意を払いたいと思います。無事に修士号を取得され、博士課程に進まれるとのことですので、クラブとして見守っていきたいと存じます。何か困ったことがあれば、浦委員長に引き続き頼ってください。

今月は水と衛生月間で、3 月 13 日を含む 1 週間はロータリーアクト週間となっています。ガバナー月信から宮里ガバナーのメッセージを引用: 人口の増加、気候変動、水紛争に由来する世界の水不足は特に開発途上国で深刻さを増し、国連児童基金 (UNICEF) のデータでは、安全な飲み水を得られないことが原因で毎年 150 万人以上の子どもが感染症によって死亡しているといわれています。また多くの国や地域の子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、過酷な境遇にあります。水不足による干ばつが進めば、世界的な食料危機も益々深刻化します。

今年度の地区補助金事業については 2 月 9 日のクラブアセンブリーで河野社会奉仕委員長が結果報告をされました。地区への最終報告も終わり、事業が完結したことをお知らせいたします。先日、次年度のための地区ロータリー財団補助金管理セミナーが開催されましたが、地区ウェブサイトでその記録動画が視聴できますので、ご覧ください。その中で、宮里ガバナーから、ウクライナ支援について触れられていました。地区 78 クラブのうち 33 クラブから 660 万円の寄付金が寄せられたそうです。この中には箕面クラブからの 10 万円がもちろん含まれていますが、財団の資金は使用されていません。箕面クラブの寄付金は Poltava RC に対し、オンライン学習を可能にするノートパソコン・タブレット端末を戒厳令下の全ての生徒に提供することに使われる予定です。詳しくは月信に表が載っていますのでご確認ください。また、延原ガバナーエレクトは 2023-24 年度重点目標として「戦争で傷ついた人への人道的支援」「コロナ禍で傷ついた子供や若者への支援」(心の健康向上につながる支援)を掲げられました。セミナーの中で大阪中之島 RC の戸田様がポリオについて講演されましたが、今月号のロータリーの友にもその内容が簡単に紹介されていますので、是非ご一読ください。ポストポリオ症候群という疾病に関してですが、日本には 4 万人の患者が存在するという、驚きの事実です。ポリオの生ワクチン(不活化ワクチンは大丈夫とのことです)を受けた人の便から感染するという事実を知りびっくりしました。

2 月 23 日は天皇誕生日で休日、例会もお休みでしたが、箕面市国際交流協会(MAFGA: Minoh Association For Global Awareness)の創立 30 周年記念式典と記念映像上映・シンポジウムが行われ、クラブを代表して出席してまいりました。表彰状と記念品をいただきましたのでご覧ください。MAFGA の活動に貢献したということで、我がクラブは団体表彰を受け、私も長く理事を長く務めさせていただいたこともあります。

4 つのテスト 言行はこれに照らしてから

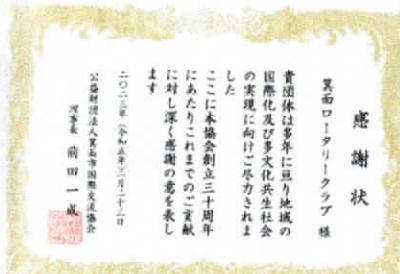
01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか

り、個人表彰をいただきました。シンポジウムでは、高橋会員がシンポジストとして、舞台上で活発な意見を発せられました。箕面クラブの国際奉仕委員長としてではなく日本ペトロ株式会社の代表取締役としての参加でした。ロータリークラブについても触れていただき、広報に役立てばもっと良かったのではないかと思いました。



公益財団法人 箕面市国際交流協会より感謝状授与



木村 知也

◆幹事報告◆

【3月の例会】

- 9日 卓話 岡内重信 会員
- 16日 休会
- 23日 卓話 浦 収 会員
- 30日 休会
- ・「2023年2月トルコ大地震」義援金について
- ・【RI会長杯ロータリーワールドゴルフ大会】のお知らせ

◆理事役員会報告◆

審議事項

- ・副会計の変更（前田会員から片山会員）について ←承認
- ・会計処理方法の変更、理事会開催日の変更について ←会計処理について必要性に応じて対応する。理事会開催日については、原則変更はしない
- ・会員増強選考委員会予算補正（増額）について ←承認
- ・クラブ外行事（支出）について ←今年度支出一覧を次年度の参考にする。次年度は地区青少年事業への参加増が見込まれるが、会費等、公式行事であればクラブ負担とする
- ・情報研究会出版の書籍購入について ←承認
- ・サントリーサンバーズへの寄付について ←承認
- ・トルコ大地震義援金について ←募金6万円にクラブより4万円追加し10万円とする



◆◆ SAA報告◆◆

SAA 山本 貴雄

ニコニコ

- 黄堂泰昌会員：水島会員、卓話よろしく
- 前田建司会員：長期欠席、大変失礼しました。水島会員、卓話宜しくお願ひいたします。
- 岡内重信会員：いつもお世話になり有難うございます。
- 芝野弘三郎会員：張君、おつかれ様でした。
- 水島さん、卓話よろしく！

高橋太朗会員：水島さん、よろしくお願ひ致します。

道林侑輝会員、今野翔太会員、森田雅之会員、西田泰会員、西脇悟会員、白坂昌子会員、武久智憲会員、浦 収会員、山本貴雄会員

米山獎学会

上島一彦会員：水島会員の卓話楽しみです

道林侑輝会員、林たかみ会員、河野優作会員、木村知也会員、西田泰会員、岡内重信会員、芝野弘三郎会員、高橋太朗会員、ロータリー財団

片山秀樹会員、河野優作会員、木村知也会員、黄堂泰昌会員、西田泰会員、西脇悟会員、岡内重信会員、芝野弘三郎会員、白坂昌子会員、高橋太朗会員、上島一彦会員、浦収会員

ボリオ

西田泰会員、西脇悟会員、岡内重信会員、白坂昌子会員、高橋太朗会員

恒久基金

西田泰会員、高橋太朗会員

◆表彰◆

【ロータリー財団】

メジャードナー 岡内重信会員



◆3月のお誕生日お祝い◆

- 3月 17日 西田 泰 会員
- 23日 山下正和 会員（欠席）
- 24日 西宮富夫 会員（欠席）
- 29日 今野翔太 会員



◆委員会報告◆

親睦活動委員会

委員長 山根ひとみ

4/20 創立記念例会の会費について

会員 15,000 円

ご家族様（お一人分）はご招待
お子様はご招待

◆米山奨学生◆



張 路明 様

今までロータリー、特に箕面ロータリーとカウンセラーの浦坂様に大変お世話になっており、誠にありがとうございます。

私はもともとあまり外出しない方で、娯楽についても料理や動画、電子制作などの室内活動を楽しんできました。もし米山奨学生に選ばれなければ、中国にいた頃のように、学校、スーパーと家の往復だけで留学生活を終えるでしょう。ロータリーのおかげで、経済面の余裕だけでなく、留学生活が彩られて、日本文化をいっぱい体験できました。

7月と12月の米山総会と地区大会に参加して、ロータリーに対した理解が深まりました。7月の梅田駅で献血活動に参加して、呼びかけと400mLの献血をしました。人生初の献血で、奉仕の満足感が湧きました。10月に箕面ロータリーの皆様と一緒に箕面祭で屋台を立ちました。三年ぶりの箕面祭で子供たちがいっぱい来て盛り上がって本当に楽しかったです。11月に学友会が開催した小豆島旅行に参加して、二十四の瞳などの名勝はもちろん、フェリー、民宿、銭湯など全てが初体験です。日本文化をいっぱい堪能しました。学友の活動で同じ奨学生のベトナムとインドネシアの方々と交流を深めて友達になりました。その後、米山梅吉記念館へ見学しに行って、米山様の奉仕の精神と日本ロータリーの歴史を勉強しました。沼津の鰻が柔らかくて美味しかったです。12月に箕面ロータリーと学友会のクリスマス例会両方参加して、思い出に残る幸せな時間を過ごせました。

ロータリーのおかげで、来月で無事に修士を修了して博士に進学する予定です。熱伝導測定に関する研究成果を出して国際雑誌に投稿し、第58回熱測定討論会でこの成果を発表して学生優秀講演賞を受賞されました。国の博士支援のおかげで、文科省の「超階層」に合格し、博士に進学してからも

研究に専念できると思います。また、先月に第二種電気工事士と溶接技能者に合格して免許をもらいました。これが装置開発の研究に役立つでしょう。

※2023.2 提出 奨学生レポートより



1年間ありがとうございました！



◆卓話◆

水島教絵 会員

『人間関係が表面化！相続には要注意』



私たち司法書士は、登記だけでなく、生前の対策から相続に関わる手続きのお手伝いをさせて頂いております。当事務所でも相続案件は多く、もめている相続案件というのはその中でも多数を占めます。

皆さんはご自身の相続時、残された家族がもめることはないと思っていませんか？

仲の良い家族であっても将来どうなるかはわからないものです。本日は、私の事務所で実際に受任した3つの案件を事例としてあげさせて頂き、遺言、エンディングノート、家族経営の会社の後継者問題が絡む相続、それぞれのケースから皆さんに知って頂きたいことを、お話させて頂きたいと思います。

●1つ目のケース：

- ①遺言は正確に記載しないと手続きに使えない
- ②遺言でないと実現できない手続きもある
(特に相続人以外への遺贈等)
- ③記載が正確でない遺言でも、遺志を伝えることはできるので、争続の場合、ないよりはまし

●2つ目のケース：

- ①遺言もエンディングノートも、記載した日付は必ず記載
- ②重要な事項は必ず更新する(更新した日付也要)
- ③口頭と記載と相違がないように重々発言には注意する、話すときは複数人に向けて話すようにする

●3つ目のケース：

- ①会社の後継者問題は親子の関係を悪化させやすく、公私ともに影響するので注意
- ②親子間では遺留分が発生する
- ③遺留分は現金で支払う必要があるので、財産が多い場合、現預金が少ない場合対策が必要だが、やり方次第ではさらに関係が悪化するので注意

相続人同士でもめていなかったとしても、当事者に認知症や施設等に入所されている方がいて手続きがストップする場合、遺産自体に問題があるケース等、相続というのは思っている以上に大変なものです。

ただ、話合いさえできれば、財産がややこしくてもなんとかなったりもします。逆に言うと、もめている場合は簡単な相続の手続きでもストップしてしまいます。



今はもめていなくても、積み重なった不満が噴出するタイミングが相続です。他人のことは誰にも分かりません。生前にできる限り周りの人とよりよい関係性を築く努力をし、もしも亀裂が入ってしまった場合は、放置せずに対策を考えて行動に移しておく、ということが何よりも大切です。



4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか



今週のワールドクイズ

アジア地域に焦点を当て、毎週様々なクイズを出していきます♪さて、今週は何問正解できるでしょうか？！

春は出会いと別れの季節。子供たちにとっては卒業や進学の時期になります。今週からは数回に分けて、各の学校事情について見ていきます。



ブルネイ・ダルサラーム国

治安が良く自然災害が少なく、自然と天然資源に恵まれ、石油や天然ガスを世界に輸出している豊かな国です。

東南アジアでは、シンガポールに次ぐ高い経済水準と充実した社会福祉を実現、ブルネイ国民であれば原則、医療費(公立病院)や教育費(公立学校)は無料、個人の所得税もかかりません。



プレスクールの様子



国内の公立学校は、小学校6年生まで皆同じ制服です

【進学の流れ】 ①～③の中等教育3年までが義務教育

- ① プレスクール(就学前教育)1年
↓
- ② 初等教育 6年
↓
- ③ 中等教育 5年(日本の中学及び高校2年までに相当)
↓
- ④ 大学予備教育 2年
↓
- ⑤ 大学進学又は職業訓練校進学



政府による奨学金制度が充実していることもあります。英國やオーストラリアの大学に進学する生徒も多くいます。

また、1984年にバイリンガル教育政策が導入され、学校ではマレー語と英語の両方で授業が実施。国語とMIBの教科以外は全て英語で行われています。

さらに、イスラム教徒の子は、午前中は通常の学校で学習し、午後は宗教学校に登校して、イスラム教の聖典であるコーランを読むためにアラビア語を勉強したり、イスラム教の教えに基づいた規律や法律、道徳について学びます。

またブルネイでは、学期末にアセスメントテストが実施され、課題の評価、出席日数も考慮しながら、学年末で最終的に進級するかどうかを学校が決定するため、義務教育でも一定の基準に達していないと進級することができません。そのため、飛び級や留年する生徒がクラスに混在しており、日本のようにクラス全員が同じ年齢とは限りません。

- 1 さて、そんな教育熱心なブルネイですが、学生の登校手段は限られています。次のうちどれを主に利用しているでしょうか？

- ① 電車
- ② 自家用車
- ③ 自家用バイク

- 2 ブルネイの子供たちは海外の番組やSNS等もよく利用しているようです。そんな中、男の子たちの間でよく見ているテレビ番組はどれでしょう？

- ① サッカー
- ② ドラマ
- ③ アニメ

(出展：

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kuni/0411brunei.html>
<http://www.clair.org.sg/j/wp-content/uploads/2018/03/%E5%88%A5%E7%BA%91-2016-03-BN-EDUCATION.pdf>



【答え】

- 1 ② 自家用車

ブルネイでの移動は基本的に車で、歩道がほとんどありません。子供たちの送迎は全て親が車で送迎をする必要があるため、登下校時間は渋滞がおき、さらに午後の宗教学校に移動する時間も親たちは送迎に時間を割かれます。それが理由で、企業の中には昼休憩の時間を長くとっているところもあるそうです。

- 2 ① サッカー

女子の間では、ドラマや音楽番組をよく見るそう。音楽はアメリカや韓国、アニメは日本の「ブリーチ」「ナルト」が流行っているようです。

(編集：広報・会報副委員長 水島教絵)